


食品ニューテクノロジー研究会 2020年4月例会

食シグナルの脳科学 - 計測テクノロジーの最先端

日時：2020年 4月20日(月) 13:30～

会場：**食情報館** <東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6階
日本食糧新聞社 内 1階はマルエツプチ>

参加費：一般受講ご希望者 16,500円 (税込) 
【食品ニューテクノロジー研究会 会員企業は無料になります】

座長：東京大学大学院農学生命科学研究科
応用生命化学専攻 特任教授 阿部啓子氏

食品の美味しさや生体調節に、脳の司令塔機能が深く関与していることが明らかになっています。従来の消化・吸収だけではなく、食品成分の摂食シグナルが脳へ伝達され、脳から末梢にフィードバックする仕組みが注目されています。脳腸軸と呼ばれるように、食シグナルは短時間に脳に伝達されます。最近、食シグナルの脳におけるリアルタイム計測を可能にする新テクノロジーが誕生しました。4月の例会では2人の研究者に講演をお願いします。
皆様のご参加をお待ちしております。

【講演1】 13:40～ 14:50

食シグナルの脳認知・応答のイメージング質量解析

福島大学 農学群 食農学類 教授 平修氏

<https://researchmap.jp/hikariko299>

【講演2】 15:00～ 16:10

「食の力を科学する！」

に貢献する脳活動の手軽な可視化技術
～パッチ脳波計の研究開発と社会実装～

大阪大学 産業科学研究所 教授 関谷 毅氏

<https://www.sekitani-lab.com/profile/>

<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/aed/index.html>

【座長まとめ】 16:10～ 16:30

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会)
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル7階
TEL03-3537-1310 FAX03-3537-1071